

令和5年度第3回館林市子ども・子育て会議 議事録【概要】

1 日 時 令和6年3月27日（水）午後3時～午後4時30分

2 場 所 館林市役所501AB会議室

3 出席者

【館林市子ども・子育て会議委員】 11名

森会長、坂本副会長、中村和宏委員、角田委員、新島委員、高橋委員、森田委員、
田端委員、鶴飼委員、太田委員、中村知子委員

（以上名簿順）

※三田委員、大野委員、鎌田委員、久光委員欠席

【市】 15名

こども局 : 木村局長

健康推進課 : 島田課長、大谷母子保健係長

子育て支援課 : 奥澤課長、小澤こども相談係長、松澤子育て支援係長、新井

こども課 : 浅海課長、前原幼保運営係長、飯塚幼保支援係長、石井係長代理
鈴木係長代理

教育総務課 : 木村課長

生涯学習課 : 廣澤課長、石井青少年係長

【委託業者】 2名

地域計画株式会社 福田氏、八木氏

【傍聴者】 なし

4 議 事

(1) 第3期館林市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

(2) 令和6年度教育・保育施設の利用定員について

(3) その他

5 配布資料

・会議次第

- ・館林市子ども・子育て会議委員名簿
- ・**資料1** 館林市子育て支援に関するアンケート調査結果について（速報・抜粋版）
- ・**資料2** 令和6年度 教育・保育施設の利用定員について
- ・令和5年度第2回館林市子ども・子育て会議質疑等についての回答書
- ・**参考資料** 広報たてばやし令和6年3月1日号（抜粋）
- ・館林市子ども・子育て条例
- ・ぼんちゃんの子育て応援ガイド「おおきくな〜れ！」

6 会議内容（概要）

(1) 開会

(2) あいさつ（会長）

(3) 議事

- ① 第3期館林市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について
事務局より、調査時期が令和6年1月下旬から約1か月遅れたことに関して、国の通知（手引き）の発出が遅れたことによるものと説明。

委託業者より、**資料1**に基づき説明：

今回の説明は単純集計結果に基づいたもので、なおかつすべての設問ではなく抜粋したものである。今後クロス集計を行い、すべてをまとめた報告書を作成することとなる。（アンケート調査結果については**資料1**のとおり。）

【質疑応答・意見等】

会長 ニーズ調査票の回収率について、未就学児71.9%、小学生78.5%というのは他市と比べてどうか。

委託業者 7割を超える回収率は、弊社で受託している他市の状況と比べるとかなり高い数字である。

委員 WEB回答の割合が多く、工夫が生きていると感じた。

委員 自身もWEBで回答した。前回調査時に紙で回答した時よりもかなり早く終わったと感じた。

また、小学校高学年になったときの希望の放課後の過ごし方について、「習い事・塾」と回答した割合が多いのは、最近は中学受験をす

る子どもが増えている影響があるのではないかと感じている。

委員 自分もWEBで回答した。中断できるという点も含め、やりやすかった。特に、回答不要の設問が表示されないという点が良かった。また、小学生児童保護者のアンケート結果について、希望の放課後の過ごし方で「自宅」の割合が多いことに驚いた。

会長 地域性もあるのかもしれない。

委員 自分もWEBで回答した。WEBは郵送よりも見やすくよかった。アンケート結果を見て、日頃子どもを見てもらえる人がいない家庭が1割以上いるのに対し、一時預かり等の預かり事業の利用は少ないという点が気になった。

委員 幼稚園の預かり保育を利用している方の割合が少ないことを受けて、自分たち幼稚園の職員としても、もっと保護者が気軽に利用しやすくなるような声掛け等していかななくてはと感じた。

委員 外国籍の保護者について、回答のサポートをする機会もあったが、日本語を書くのが難しい方が多いので、WEB回答ができることが有難かった。

また、預かり保育に関して、当園では、利用者が100人以上（3～5歳児のみ）いる状況。保育室や保育士の人員についてひっ迫していることが課題である。利用が多く有難い反面、「助けが欲しい」という現実もある。

子どもに嘔吐や発熱等があると早い段階で園から保護者に連絡し、療養期間が短くなるよう、なるべく早く処置できるよう努めているが、核家族が増え、親が仕事を休んで子どもを見なければならぬことが保護者にとっては負担なのでは、と感じている。

委員 病気だと高齢の祖父母を頼るのもためらうことが多く、病児保育についても予約が必要だったり事前に受診が必要だったり、利用までのハードルが高いと感じてしまって利用できなかった。

委員 放課後の過ごし方については市内であっても地域によってばらつきがあるのではないかと感じている。第九小学校地区は、放課後児童クラブ等を利用する児童がかなり多いと感じている。

また、放課後子ども教室について、今後、もっと地域の方を巻き込ん

だ事業にしていけると良いと感じている。

あわせて、発達やしつけ、成長に関して悩む保護者が多かったことを受けて、今後そのような保護者に対し、学校としてどう関わっていいのか考えていきたい。

委員 放課後子ども教室について、17時まで利用したい方が最も多いということは、求められているのは「子どもの居場所」としての放課後子ども教室であると感じた。自由記述欄についてもよく見ていくと、保護者がどういう意図で回答したのか、より詳しく分かってくると思う。

フリースクールについては、まだまだ知られていないという実態が分かった。情報提供をしていかななくてはと感じている。

委員 子どもを見てもらえる人も、預かり事業の利用もない、という方が多いように感じている。必要がないのか、理由があって利用していないのかはわからないが、放課後児童クラブへの要望で「利用料金の軽減」の割合が最も多いことから、預かり事業を利用しない理由の1つとして金銭的な面が挙げられるのではないかと感じた。

副会長 日常的に子育てに関わっている方という設問で「祖父母」の割合が7割近くある。孫を持つ者として、まだまだ頑張らなくてはと感じた。

② 令和6年度教育・保育施設の利用定員について

こども課より、**資料2**に基づき説明：

令和5年度第1回子ども・子育て会議において、南保育園と南幼稚園の統廃合による認定こども園化に伴い新たに設置する南こども園の利用定員の設定についてご説明し、ご了承いただいたところであるが、今回は、それ以外に私立園で2園、公立園で5園利用定員を減少するご報告である。

常楽幼稚園について、本年度まで利用定員45人のところ、園児の減少により25人に変更したいという届出があった。

杉並幼稚園について、これまで認定こども園化に合わせて利用定員を変更することを考えていたが、実数に合わせて変更することとした。現在の利用定員160人のところ、50人とした。

西幼稚園について、利用定員160人のところを40人とする。

双葉保育園について、本年度の利用定員70人のところ、園児の減少により60人に変更したいとの届出があった。

東保育園について、北こども園に近い場所にあるということからも、希望者の減少があり、現在の利用定員90人のところを70人とする。

六郷保育園について、杉並幼稚園との統廃合による認定こども園化を予定していること、及び認定こども園AOYAGIや富士こども園とも近いことから、現在の利用定員100人のところを80人とする。

松波保育園について、成島保育園の民営化を控えていることから、民営化事業者の事業を圧迫しないように利用定員の減少を行い、現在70人のところを60人とする。

【質疑応答・意見等】

会長 館林市は公立園が非常に多い。今後、公立をどう支えていくか、公立の良さと民間の良さをどう合わせていくか、という過渡期にある。子どもの最善の利益のために、館林市はとても良い状態で進んでいるのではと感じる。

委員 子どもの人数は年々減っていると感じている。それと同時に、働きたいと思う保護者がかなり増えている。預かり事業を利用する保護者のほとんどが仕事の都合である。その中で幼稚園の存在意義について考えることもあるが、外国籍の家庭や共働きではない家庭のため、「幼稚園」という存在を残していかなければ、と感じている。

③ その他

資料「令和5年度第2回館林市子ども・子育て会議質疑等についての回答書」に基づき、会議資料のペーパーレス化等について、事務局より説明：

今後の会議では、委員の皆様にもノートパソコンやタブレット端末等を持参していただくことで資料をペーパーレス化する（紙での資料をご希望される方には、これまでどおり紙の資料を配布させていただく）ことを考えている。令和6年度第1回の会議から実施の予定のため、ご協力をお願いしたい。

また、参考資料として市広報3月1日号の抜粋をお配りした。放課後子ども教室について掲載しているので参考にご覧いただきたい。

加えて、本日皆様のお手元にお配りした「ぽんちゃんの子育て応援ガイド「おおきくな〜れ！」」の冊子について、これは館林市における子育てに関する情報をまとめたものである。あわせて参考としていただきたい。

【質疑応答・意見等】

会長 「ぽんちゃんの子育て応援ガイド「おおきくな〜れ！」」については幼稚園・保育園で各家庭に配っているものか。

事務局 配っている。2年に1度の発行のため、令和6年度に新たな冊子をお配りする。

会長 本日の感想でも、ご意見でもいいので一言ずついただきたい。

委員 ニーズ調査について、リアルな保護者の声が表れていると感じた。今後分析していくことで、館林市の子育て支援事業の確保につながっていくと思う。

委員 ファミサポのまかせて会員について、自身も会員として活動しているが、働く保護者のニーズに合わない部分があるというのは感じている。会員がいても対応できないというのは改善の必要があると思う。

委員 ペーパーレス化に賛成である。

委員 本日、放課後児童クラブの活動でコミュニティスクールとして区長と芋植えをしてきた。「広く情報が届くようにどうにかできないものか」と、区長とよく話している。今後の課題であると感じる。

委員 ニーズ調査の結果を参考に、今後の保育を充実させていきたい。

委員 今日の会議で得たことを保育目標にも取り入れていきたい。

委員 教育現場にいる者も、この会議で示されたような調査結果等を知るべきだと感じている。説明会等が開催できるといい。

委員 発達障がい児に関する知識がまだまだ普及していないと感じている。「わからない」ことが原因で様々な問題が起きていると思う。

委員 ニーズ調査の分析結果を期待している。

(4) 閉会

事務局より、ニーズ調査の分析結果については冊子ができ次第、郵送にて委員へ送付することを説明し、閉会。